

2013 年 6 月 25 日

お客様各位

株式会社 セゾン情報システムズ
HULFT 事業部

HULFT クラウドの脆弱性に関するお知らせ

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、HULFT クラウドにおいて、セキュリティ上の脆弱性に関する問題が発見されました。

原因と内容、対処方法について下記の通りご案内申し上げますので、ご確認の上、暫定モジュールの適用をお願いいたします。

敬具

－ 記 －

1. 対象製品

HULFT クラウド Ver.1.0.0 ～Ver.1.4.0

2. 脆弱性の原因と内容について

HULFT クラウドで使用している Web アプリケーションフレームワーク(Struts Ver.2.1.8.1)に下記の脆弱性が存在し、サーバ上で任意のコマンドが実行される恐れがあります。

＜Struts2 の問題＞

- S2-005 XWork ParameterInterceptors bypass allows remote command execution
<http://struts.apache.org/development/2.x/docs/s2-005.html>
- S2-008 Multiple critical vulnerabilities in Struts2
<http://struts.apache.org/development/2.x/docs/s2-008.html>
- S2-009 ParameterInterceptor vulnerability allows remote command execution
<http://struts.apache.org/development/2.x/docs/s2-009.html>

その他にも報告されている脆弱性がありますが、HULFT クラウドでは対象機能を使用していないため、問題ございません。また、Struts Ver.2.1.8.1 より前のバージョンで発見された脆弱性に関しては、すでに修正済みのため、問題ございません。

3. 対処方法

HULFT クラウドで使用している Struts2 に、脆弱性の対処を行ったモジュールを 6 月 25 日にご提供いたします。
正式版につきましては、Ver.1.4.1 (2013 年 9 月リリース予定)で対応いたします。

4. モジュール提供方法

6 月 25 日より弊社ホームページよりダウンロードが可能となります。

<http://www.hulft.com/news/info/download/130625.html>

5. 修正モジュールの適用方法について

手順

以下の手順に従って脆弱性の対処を行ったモジュールを適用してください。

- (1) Tomcatの停止
修正パッチを適用する間は、HULFT クラウドをデプロイしているTomcatは停止してください。
Tomcatが動作している状態では、正常に修正パッチを適用することができません。
- (2) HULFT クラウドのバックアップ
修正パッチ適用前に、HULFT クラウドのバックアップを行ってください。バックアップの方法は、「HULFT クラウド 導入マニュアル」をご参照ください。
- (3) 修正パッチの適用
ダウンロードした、修正モジュール「struts2-core-2.1.8.1.jar」を以下のフォルダに上書きコピーします。
Tomcatのインストールディレクトリ/webapps/webft/WEB-INF/lib
- (4) Tomcatの起動
Tomcatの起動を行います。
- (5) 修正パッチ適用後の確認
疎通テストを行なって、通常通り動作することをご確認ください。疎通テスト方法は、「HULFT クラウド 導入マニュアル」をご参照ください。

以上